

R5事業実施プロセスシート

消防本部

No.	所管部課	基本計画		総合戦略	事業名	取組名	取組の概要	年度目標	年度計画	進捗度	進捗状況	関係所管
		視点・政策	施策									
1	消防本部 消防本部 総務課	(視点)02安全安心(政策)04備える	25. 地域の防災力を高め、災害時に迅速に対応します		消防団活動推進事業	消防団員の出動指令等のためのアプリ導入	消防団の処遇改善を目的に、消防団員用アプリを導入する。	対象団員のアプリ利用率100%	4月:仕様検討 6月:利用契約 7月~8月:利用研修 9月~12月:訓練	★	4月:仕様検討 6月:仕様は確定したが、特許権の関係で特命随意契約となる可能性があるため精査中 7月:消防団の力向上モデル事業(国費による委託事業)に採択されたため、9月1日からの利用に向けて、事業者との利用契約や消防庁との委託契約事務を進めている。 8月:アプリ利用許諾契約締結。今後の研修、訓練などに向け調整中。 9月:消防団員にはアプリ利用研修を実施、秋の火災予防週間中の消防訓練での使用訓練に向け調整中。 10月:災害時アプリ起動訓練、消防訓練での使用訓練を実施 11月:川西・多田・東谷の地区別訓練において、アプリを活用した各部門での連携や、事務局への出動報告書の提出など、実体的な訓練などを実施。 1月:令和8年度に向けた契約内容などを確認するとともに、アプリ内の火災出動指令について、より川西市消防団の現状に即したシステム内容の一部変更を加える作業に着手する。 2月:システム内容変更も完了し、2月末日時点で、訓練実施回数4回、各部分からのアプリを使用しての各種報告回数が66回とアプリ使用頻度もかなり高いといえる。アプリ内での出動指令情報の取得は、対象団員がほぼ活用している状況である。また、R6年度は対象団員を全団員に導入する予定。	
2	消防本部 消防本部 総務課	(視点)02安全安心(政策)04備える	25. 地域の防災力を高め、災害時に迅速に対応します		消防団施設整備事業	消防団東久代部格納庫の移転	消防団東久代部の格納庫を移転する。	移転先となる敷地の地盤調査、格納庫の設計等が完了している。	4月~6月:入札準備 7月:契約 9月~2月:設計	★	4月:都市政策課と協議 7月:格納庫の設計内容等について、自治会、東久代部と調整中 9月:現状の消防団東久代部格納庫の継続使用が可能となり、自治会、東久代部とも調整の結果、現格納庫を使用することで決定する。	施設マネジメント課 都市政策課
3	消防本部 救急課	(視点)02安全安心(政策)04備える	26. 行政の防災力を高め、災害時に迅速に対応します		救急活動事業	救急体制の充実、強化	令和7年度の救急隊増隊に向け、計画的に救急救命士を養成する。	・現場活動できる救急救命士資格者を養成。(1名) ・次年度の救急救命士養成課程入校者(1名) ・R5年度救急救命士国家試験(1名)	4月:救急救命士就業前研修にかかる関係機関との調整 5・6月:救急救命士就業前研修期間(研修終了後、救急救命士に任命1名) 8月:次年度(R6)の救急救命士養成課程入校者選考(1名) 9月~3月:R5年度救急救命士養成課程入校(1名) 3月:R5年度救急救命士国家試験(1名)	→	4月:救急救命士就業前研修の日程調整、契約事務等を実施済 5月:救急救命士就業前研修として病院実習(10当務)に職員1名派遣 6月:救急救命士就業前研修を修了し、職員1名を救急救命士に任命 8月:次年度(R6年度)の救急救命士養成課程入校者(1名)を選考済 9月:R5年度救急救命士養成課程(期間:R5.9~R6.3)に職員1名入校済	